



ロク



昨年8月に保護犬の里親になりこのベルズレターでも3回に渡りお伝えしてきました。ツキノワグマの模様に似ていることからツキと名づけ家族に迎え入れました。野犬出身の為、筋金入りのビビリ犬で今でこそ家族には慣れましたが(ムスコとはもう少し時間が・・・)毎日の散歩では相変わらずのビビリっぷりです。そんなツキに新たな相棒が出来ました！その名もロクです！鈴木家“6番目の家族”という事で名付けました。このロクもツキと同じく保護犬で、地元湘南のボランティア団体さんから譲り受けました。ビビりのツキに

対してロクは超フレンドリー！人間、犬問わず、誰にでもシッポを振って近寄ってきます。ロクは沖縄の宮古島出身で、南国のおおらかな雰囲気そのままの子犬で生後4が月の男の子です。ボランティアさんいわく、「沖縄の人はおおらかな人が多いからワンコもおおらかなんですよ。」なるほど。ただフレンドリーと言っても負けん気は強く先住犬のツキにもとびかかってくるきかん坊です。初対面こそお互い警戒していましたが、その日の夜にはワンコのプロレス「ワンプロ」で取っ組み合いです！「遊び」なのか「ケンカ」なのか判断が難しいですが、これも社会性を身につけさせるのに大切な事のように思えます。強く噛めば痛い、しつこいと嫌がられるなど、ワンプロによっていろいろ学ぶんですね。ただ最初はじゃれ合っているのが、だんだんエスカレートして本気モードに。そんな時はレフリーストップです(笑)。さてそんなロクですが、ごはんの時間も大変です。宮古から引き取られ、ボランティアさん宅でたくさんの保護犬ともまれながら暮らしてきたせいなのでしょう、ごはんのがつつきが半端ない！忘れもしません、初めてごはんをあげた時の事です。ガツガツガツガツガツガツ



ベッドの上でクロスカウンター！？「あしたのジョー」のワンシーンを見ているようです(笑)



がつつき防止トレイで矯正！

ガツガツ・・・例えるならキツツキか、はたまた道路工事の削岩機か！一瞬にして自分のドッグフードを平らげ、隣でまだ食べているツキのごはんの器にも顔を突っ込んでしまいました！すかさずロクを引っ張り上げましたが、時すでに遅し。残りのツキのごはんもほとんど食べられてしまいました・・・(涙)。あまりの一瞬の出来事に啞然。と同時に可愛い子犬のルックスとがつつきのギャップに思わず吹き出してしまいました(笑)。それからというもの、ごはんの時はロクをケージに入れてツキとは別で餌を与える

るようにしています。そんなこんなでロクが家に来てから2か月が経とうとしています。ロクが来た影響なのか、たまたまなのか、最近ツキも徐々に変わってきたように感じます。散歩で他のワンコにあいさつしたり、仲のいい飼い主さんにもシッポを振って近づけるようになりました！（家族以外の人に近寄っていったのは初めてです！）大きな進歩です！毎日のお世話が倍になって大変な事もありますが、それ以上にたくさんの幸せをもらっているように感じます。これからも末永く2匹の成長を見守っていきたいと思います。以上ワンコリポートでした！



仲がいいのか悪いのか、気が付けば二人で布団の上でこんな光景も。

庭改造計画パート 2



南側

前回ご紹介しました庭改造計画の続編です。4月の芽吹きの時期までにと進められてきました造園工事がついに完成しました！イメージ通りに建物がすっぽり緑に囲まれ大満足の仕上がりです！南側には高さ8m級のコナラの木を3本植えました。言わずと知れた雑木林の王様でワッサワッサと生い茂る葉っぱで南側の強い日差しを遮ってくれます。ただ移植の際、根っこを切られて水を吸い上げる力がいまいちなのか木の上の方の葉っ

ぱに勢いが無く、大きさも小ぶりです。毎日の水やりの他にサプリメント液をやったりして最近やっと葉っぱにはりが出てきました。東面には6m級のコナラを2本に、ジュンベリーやエゴノキ、コナラも植えました。こちらは建物が海風を遮ってくれるので、紅葉のきれいな落葉樹を中心に構成しています。ただこれからの台風シーズンは注意が必要で、潮を含んだ雨風が吹いた翌日には真水で葉っぱをきれいに洗い流してや



東側

らないといけません。一昨年は台風年で、葉っぱが全滅。黒ずんで枯れたような姿になってしまいました。せっかく立派な木が植わったので今年はきれいな紅葉が見れるようワンコ同様にお世話していきたいと思います！さて自分がここまで緑にこだわるのは何も景観を意識しているだけではありません。冒頭でもお話しましたが、これからむかえる夏を快適に涼しく過ごすためなんです！そこでここでは夏の住まいを涼しくするための木々の効用について3つお話ししたいと思います。

● 1 直射日光の遮断

枝葉によって夏の強烈な直射日光を物理的に遮る事で、木陰となる地表にも冷気が宿ります。都会における夏の日なたが以上に暑い理由は、日差しによる直接的な熱射（直射熱）だけでなく、日なたの道路や地面などからの照り返しによる熱（輻射熱）による相乗作用があります。その為我が家の駐車場は土間コンクリートで地表を覆わず、石畳にして土を露出させています。徹底してこだわります！また木々の枝葉によって夏の直射日光を遮る事で、地表だけでなく家屋壁面の温度上昇を防ぐ事にも繋がります。

● 2 風の誘導

夏の日中、木立があることによって日なたと木陰との間に大きな温度差が生じます。風はこの温度差によって発生します。暖かな空気は下から上へと吸い上げられて上昇気流となり、それが木陰の冷気を引っ張ります。夏の日中、木々が溢れる森や公園の前を通ると、ひんやりとした空気の流れを感じるのはこの作用によります。

● 3 蒸散による気化熱の放出

植物は光合成により葉の表面にある気孔から吸い込んだ二酸化炭素を原料に、体に必要な炭素化合物を作り出します。その過程で、酸素と水蒸気が放出されます。気孔を通してなされる水蒸気の放出活動を蒸散と言います。

根から吸い上げられた水分は、一部は光合成に消費されますが、大部分は蒸散によって気孔から放出されます。暑い夏ほど活発に蒸散が行われ、周囲から気化熱を奪います。木陰の涼しさは単なる日陰である事だけが理由ではなく、上部の空間を占める葉の蒸散活動による冷却効果が大きいからなんです。暮らし環境の中で、木々のこうした効果を上手に活用する事で、住まいの環境をより健康で快適なものにしていくことが出来るんです。何だか最後は本題からだいぶずれてしまいました今回の庭改造計画ですが、いかがでしたか



蒸散機能をもつ樹木は天然の空調設備です



しょうか。ちょっと難しいお話になってしまいましたが、やっぱり緑は気持ちいいですね。左はダイニングから外に向かって撮った写真です。窓越しに見えるコナラ（右）とジュンベリー（左）、いずれも落葉樹で一年中景色を楽しませてくれます。ツキも毎日ベンチに身体を乗り上げ外を眺めるのが日課になりました。ただこの習慣、ちょっと困りもの。目にする通りすがりの人に向かってワンワンワン 近隣の方、通行人の方すみません・・・(涙)

立体の専門家たち～by MIYAKE

こんにちは三宅です。今回は珍しく建築業界らしい記事、『立体の専門家たち』と題して書こうと思います。学生時代に椅子の本を読みまくっていた私がインテリアについて語りたくなったので勝手に語らせていただきます。

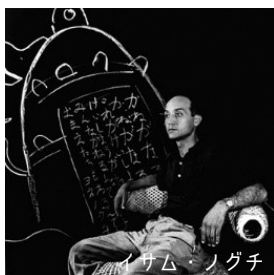
○建築とインテリア

一般的にインテリア（ここでは室内装飾ではなく家具や照明を指しています）はプロダクトデザイナーが作りますが、その他の専門家がインテリア製作に携わることも少なくありません。特に建築家が携わることは多いです。建築もインテリアも立体という点では同じで、とくに家具は最小の構造物といえます。そういった意味では、建築家にとってインテリア製作は**自身の設計思想や哲学を凝縮した形**といえるでしょう。たとえば、新国立競技場の設計で有名な隈研吾氏の建築と家具を比べるとこのような感じです。隈研吾氏らしい木質モジュールの積層で構成しています。



○インテリアを作った彫刻家

彫刻家の中にもインテリア製作に携わった人物がいました。有名彫刻家『イサム・ノグチ』です。国内外で彫刻や造園など分野を問わず活躍したイサム・ノグチですが、インテリアの名作もたくさん残しました。代表作は『ノグチ・テーブル』です。点で支える脚のバランス感が彫刻家らしいですね。BELLS が手掛けたお家にもイサム・ノグチの作品を取り入れたものがあります。akari シリーズという和風照明のリプロダクト品で、和室のスタンドに取り入れえました。丸くいびつな造形と和紙により柔らかく灯ります。ちなみにこのイサム・ノグチ、幼少期は茅ヶ崎で過ごしているんです。



イサム・ノグチ



ノグチ・テーブル



藤沢市辻堂 K 様邸の和室

○コンスタンティン・ブランクーシ

このイサム・ノグチが師事したアーティストがいました。彫刻家『コンスタンティン・ブランクーシ』、私の好きな芸術家です。次ページの2つの作品はどちらもブランクーシの作品です。

1つめは『空間の鳥』という作品です。初めて実物を見たとき刀のようなフォルムに張り詰めた空気を感じました。真鍮のシンプルな造形で翼もないですが、これから飛び立つところを予感させます。**空間から削り出した鳥**という表現が個人的にしっくりきます。みなさんぜひ横浜美術館で観覧してみてください。

2つめは『無限柱』という作品です。空間の鳥が130cmほどに対してこちらは30mあります。ひたすら高いです。写真からすでに迫力を感じさせますね。無限柱は戦死者慰霊碑で、正式名を「終わることなき感謝の柱、英雄たちの記念碑」といいます。単純な造形の繰り返しは感謝の連続、積み上げは天まで届かせる想いの強さを表しているのでしょうか。実物はルーマニアにあります。



○まとめ

本当はブランクーシ作品を紹介したかっただけでして、最終的には建築もインテリアも全然関係ない話になってしまいました。今回の記事で、立体という共通点を通して建築とインテリアと彫刻は近親関係にあると理解していただけたら幸いです。以上、ただブランクーシを知ってほしいだけの記事でした笑。最近美術館行ってないなあ…。

Bells Kitchen

よくよく思い返してみると、今年に入ってからというもの何だかずっと外出自粛、外食する事すらはおかれる状態のまま半年あつという間に終わってしまいました(涙)。スーパーの野菜売り場には色とりどりの夏野菜。季節だけは着実に進んでいますね。今回はキュウリやキャベツ、茹でたじゃがいも、生姜と何につけてもべらぼうに美味しい「にんにく味噌」をご紹介します。そしてこのにんにく味噌をアレンジした夏の冷麺「豆乳坦々素麺」がおススメ!基本のにんにく味噌さえ作っておけば、火の前に立つのは、ひき肉炒めて麺を茹でる時だけ。この夏の冷蔵庫に欠かせない存在になる事間違いない!是非お試しください!



- 【にんにく味噌】
- ・にんにくすりおろし 1片分
 - ・一味唐辛子(お好みで)
 - ・味噌 150g
 - ・砂糖 大さじ4
 - ・みりん 大さじ2
 - ・酒 大さじ2



- 【豆乳坦々素麺】 4人分
- ・素麺 6束(300g)
 - ・豆乳 1200ml
 - ・白だし 大さじ6
 - ・すりごま 大さじ4
 - ・豚ひき肉(赤身がおススメ) 250g
 - ・基本のにんにく味噌 大さじ4
 - ・ごま油
 - ・トッピングにラー油、小ねぎ、輪切り唐辛子

まずはにんにく味噌の作り方です! 材料を全て鍋に入れて火をかける。中火で焦がさないように注意しながらとろみが出たら完成!(4~5分位)



豆乳に白だし、すりごまを入れスープを作り冷蔵庫でよく冷やしておく。



フライパンにごま油を入れて豚ひき肉を炒める。



火が通ったらにんにく味噌で味付けして冷ましておく。



ゆであがった素麺にスープを注ぎ、肉味噌、トッピングをのせて出来上がり!

編集後記

今回で 35 号になるベルズレター。“波乗りリフォーム屋の独り言”と銘打ってはじめてのが10年前。思い返せば波乗りネタを記事にしたのは数えるほど。最近ではすっかりワンコネタが定着してしまいました。10年の節目に“犬好きリフォーム屋の独り言”に改名か!? という事でたまには波乗りネタを一つ。夏を前にボードを新調しました!それもわんこのリードのボード一柄でデザインしました!今年50歳のオヤジサーファーにはちょっと派手すぎ??只今梅雨のど真ん中。はっきりしないお天気が続いています。(東京五輪もはっきりしない...) そんな釈然としないもやもや感を払拭する為に派手なボードを作っちゃいました! さてお話変わります弊社ホームページがリニューアルしました!今までよりも分かりやすくシンプル感になっています。施工事例の写真も大きくなりましたので是非ともチェックを「ベルズリフォーム」で検索してください!それでは次回9月発行予定ですお楽しみに!

